

ウグイスの生態習性

張建軍・史榮耀・薛紅忠
山西省歴山国家級自然保護区
訳 福井和二

ウグイス (*Cettia diphone*) の生態についての研究は比較的少ない。1995～1997年4月から10月にかけてわれわれは山西省歴山国家級自然保護区においてウグイスの生態観察を行なったので、下記のように報告する。

自然環境および観察方法

歴山国家級自然保護区 (111° 51' 10" ～112° 36' 35" E, 35° 16' 30" ～35° 27' 20" N) は山西省南部の中条山の東麓、翼城、泌水、陽城、垣曲の4県に接し、総面積は24800hn²で、主峰の舜王坪は標高2321mである。

ウグイスの典型的な生息環境のなかに観察路線4 kmを選択し、2 km/hの速度で歩き、幅100m(両側各50m)におけるウグイスの密度を記録した。一定の観察人員、調査路線、時間等で3年間調査した。調査は毎回7:00～10:00時の間に行なわれた。調査中に目視された個体の数、鳴き声により確認された個体の数(繁殖期においては1回の鳴き声について2羽と数えた)。

毎年5～9月、毎月1回、各調査地1個所で成長1羽を捕獲し(計15羽)、体重、各部位の測定、胃内容物の検査等を行なった。

生息環境

営巣地：日向に面し、日当たりのよい密集した灌木林の中を選択し、下枝の葉が茂った枝叉の部分に営巣する。

採食地：営巣地から遠くは100km、近い距離で15～40m。その環境特性は樹木が少なく鬱閉度の小さい、草が密生し、食物が多様で採食しやすいところである。

短時間の休息場：ウグイスは日中静かにとまって休息する習性があり、その休憩場所は多く、大きな岩の上であったり灌木林の頂点、林縁部の小さな木の側枝、枯れ木の幹、材木置き場なども利用するが、最も多いのは黄刺玫(*Rosa chinensis*)¹、白刺花(*Sophora viciifolia*)²、沙棘(*Hippophae rhamnoides*)³などの棘のある藪の上で休息する。

ねぐら：抱卵期と育雛期の3～4日目までの雌は巣の中で寝るが、これを除いて彼らは、日当たりが良く、風を背にした斜面の枝が密な灌木林を選び、営巣場所からは30～50cmほど離れた枝でねぐらをとる。

渡りの季節

ウグイスは山西省では夏鳥で、毎年の渡りの状況を表1に示す。

表1 歴山保護区におけるウグイスの渡り

年	初観察日	最終観察日	滞在日数	次回渡来するまでの日数
1995	4月24日	10月4日	160日	205日
1996	4月27日	10月3日	157日	208日
1997	4月29日	10月2日	154日	211日
計	4月24～29日	10月2～4日	154～160日	205～211日

表1によりウグイスは毎年24～29日に渡来し、10月2～4日に渡去する間154～160日

間滞在する。この渡り行動は安定しているとみえる。

個体群密度および分布

標高、分布によって様ではなく、3個所を選定し、個体群密度の調査を行なった(5月)。結果を表2に示す。(n=24)

表2により分かることは、本区の異なる植生帯の灌木叢環境に、等しくウグイスが生息しておりその個体群密度の変異範囲は2.54~4.08羽/kmである。X²のテストによるとX²=0.086, P<0.5の有意差がある。

表2 歴山保護区における繁殖前個体群密度および分布

年	地域	標高/m	出現数(羽)	羽/km	分布	生息環境
1995	大河	1150	75	3.12	32.18	耕地, 疎林, 灌木叢
	下川	1500	61	2.54	26.18	灌木叢, 広葉混交林
1997	馬家河	800	98	4.08	42.06	耕地, 灌木叢, 疎林
	合計	—	233	9.76	100.0	
	平均	—	76.67	3.25	33.33	

繁殖

ウグイスは4月下旬からつぎつぎと本区へ渡ってくる。5月上中旬にテリトリーをかまえ、つがいを形成し、囀りがきわめて高く、多くなり、“咕嚕嚕”と休みなく鳴く。6月上旬には多くが巣作りを完了し、中旬に産卵して孵化にいたる。本区と長白山における繁殖状況に資料を比較して表3に示す。

表3 中条山と長白山のウグイス繁殖資料の比較

繁殖地	年	営巣期 (日)	営巣 日数	最初 産卵日	1巣 卵数	抱卵 日数	孵化率 %	巣内 育雛	巣外 育雛	繁殖 成功率
歴山保護区	1995~1997	5月8日~29日	7~9	5月25日	3~6	15±1	96	14~15	8~10	71
長白山保護区	1984	5月中旬~6月上旬	4~5	6月上旬~中旬	4~6	15~16	97	11~12
長白山保護区	1985	5月下旬~6月中旬	6~7	...	3~6	15±1

巣は楕円形で精細に作られている。巣の外側はハマスゲ、コケ、細い樹枝等を巣材に使用し、内側にはコケ、毛の様に細い草の根、繊維状の樹皮を用い、底には羽毛、獣毛を敷いている。巣は灌木叢の枝叉の部分に作られ、地面から高さ18~21cmであった。6個の巣の測定では外径14.37±1.21cm, 内径9.14±0.8cm, 巣の高さ13.44±1.37cm, 巣の深さ8.56±0.89cm, 巣口の径5.32±0.18×5.0±0.16cmであった。巣作りには7~9日かかった。巣作り完了後、1日おきに1卵ずつ産卵し、年1回繁殖する。卵重は2.2±0.8g(n=24), 長径19.4±0.3mm, 短径14.7±0.9mm(n=24), 鈍端で卵の白色はレンガ色、濃い紫褐色の斑点があり、一部のものには鈍端部に紫褐色の斑点が環状に集まっている。

最後の1卵を産むと抱卵を開始する。抱卵は雌がおこない、15±1日で孵化、孵化率は96%出会った。1995年の1号巣では1巣4卵であり、雌が抱卵中の第2, 7, 12日目を終日観察したところ、抱卵時間(1日計4時間)は1日の83%, 71%, 84%を占めた。雌の巣に対する執着は非常に強い。

孵化したばかりの雛の体重は2.20g(n=15), であった。全身の皮膚は露出し、わずか頭部、後頭部に灰色の獣毛が生えている。頭部ばかりが大きく、頸が細く、腹部は球状で、目はとじた

まま、やっとうつと頭を振ることができ、お尻を上にして体を横たえている。1995年の1号巣における雛4羽の1～15日齢の体重、体長および外部器官の測定値を表4に示す。

表4から見られることは、15日を経て、体重21g、体長102mm、その他の器官もすべて成長し、全身の羽毛もほとんど生えそろう。成鳥に対して体重(29g)の72.38%、体長(100mm)の63.78%に達している。各自が巣立ちして、巣の外で親鳥から給餌を受けるのに8～10日を要する。

表4 雛鳥の体位測定結果

日齢	体重 /g	相対成 長率%	体長 /mm	相対成 長率%	嘴峰 /mm	相対成 長率%	翼長 /mm	相対成 長率%	尾長 /mm	相対成 長率%	附蹠 /mm	相対成 長率%
1	2	—	27	—	6	—	—	—	—	—	6	—
4	14	85.4	36	25.0	8	25.0	3		2		11	45.5
8	18	22.2	69	43.5	11	27.3	25	88.0	20	90.0	16	31.3
12	20	10.0	80	13.8	12	8.3	37	32.4	39	48.7	20	20.0
15	21	4.8	102	21.6	14	14.3	66	43.8	59	39.9	26	23.1

相対成長率=(t2-t1)/t2×100

食性

調査期間中に採集した15羽の標本(♂9, ♀6)の剖検結果を表5に示す。

表5によれば、この鳥の繁殖期は昆虫食であり、秋に入ってから食物も昆虫が主であった。

表5 歴山保護区におけるウグイスの食性

昆虫種の特徴的な組織片				
種別	出現回数	出現率	重量/g	重量%
ゾウムシ類	11	6.28	2	4.94
バッタ類	11	6.28	5	12.35
ガ類	9	5.14	3	7.40
チョウ類	8	4.57	3	7.40
ハチ類	8	4.57	2	4.94
アリ類	8	4.57	1	2.47
アブ類	7	4.00	2	4.94
テントウムシ類	14	8.00	1	2.47
カ類	7	4.00	1	2.47
明確に識別できる昆虫類				
種別	出現回数	出現率	重量/g	重量%
ハナバエ類	9	5.14	3	7.40
イエバエ類	11	6.28	2	4.94
スズメバチ類	7	4.00	2	4.94
シャクガ類	7	4.00	2	4.94
メイガ類	6	3.44	1	2.47
ヨトウガ類	6	3.44	1	2.47
カミキリムシ類	5	2.68	2	4.94
コガネムシ類	5	2.68	1	2.47

種類	出現回数	出現率	重量/g	重量%
カレハガ類	4	2.29	1	2.47
オサムシ類	4	2.29	1	2.47
ハムシ類	3	1.71	1	2.47
Caleruclla	3	1.71	1	2.47
コメツキムシ類	9	5.14	2	4.94
アブラムシ類	13	7.43	0.5	1.23
組織片残渣				
鱗翅目	—	—	—	
鞘翅目	—	—	—	
直翅目	—	—	—	
膜翅目	—	—	—	
総計	175	100.0	40.5	100.0

訳注

- *1 黄刺玫(*Rosa thinxan*) ; 中国高等植物図鑑には黄刺莓 (*R. xanthina*) があり、
玫と莓は同じ読みで、玫はバラ、バラの実のことである。
バラ科、東北、内蒙古、河北、山東、山西、陝西、甘肅に分布する。
- *2 白刺花 (*Sophora viciifolia*) ; マメ科、クララ属、華北、江蘇、浙江、湖北、
河南、陝西、甘肅等に分布。
沙棘 (*Hiccuphae rhamnoides*) ; グミ科、グミ属、華北、西北、四川、雲南、
チベットに分布。